

○ 「本校に着任して」

事務課長 松本 博明

この度、4月の市の人事異動により、保健福祉部福祉課から富良野看護専門学校事務課に配属になりました。本校に着任して、当初は新年度の諸業務が多く、慌ただしい日々を過ごしてまいりましたが、思った以上に、校内は賑やかでバイタリティーのある学生が多いと感じました。今後も学生とともに、明るく活気がある学校環境を維持し、良好な学校運営ができればと思うところです。

さて、今まさに人が人らしく生きられる医療環境が望まれる時代であると思います。知識や技術に優れているだけでなく、患者さんの心や個性を理解し、人の心に届く温かい看護が実践できる力を身につけ、精神面からもサポートできる看護師になっていただきたいと願うところであり、本校での学びとともに様々な学校行事、キャンパスライフを通して、多くのことを学び、日々ふれあい、感動し人間力を高めていただきたいと考えます。看護師の道は厳しいものがありますが、本校で学ぶ学生全員が、看護師として夢をかなえる日を迎えるまで、ともに本校で学んでいきましょう。

第1学年 「市内見学を終えて」 (感想文の抜粋を随時掲載)

- まず私たちは、ふらのチーズ工房を見学した。ふらのチーズ工房は、第三セクターといってふらの農産公社と市が運営しているチーズなどの乳製品を製造、販売している施設だ。昭和50年、富良野市の酪農家の中で牛乳が大量に余って捨てられていたのを見かねて、当時から有名だったワインによく合うチーズを作ってみようと始めた。(中略)年間平均で30万人が訪れ、今では外国からの観光客が多いということもお話してくれた。見学を終え、この施設の人は利用者の声をよく聞き、様々なニーズに対応できるよう耳を傾けていると感じ、なおかつチーズやピザなどに対するこだわりも感じられた。とても楽しかったので機会があれば、また家族や友人と遊びに行きたいと思った。(後略) 1年 小野田有希
- (前略)次に訪れたのが富良野演劇工場で平成12年10月にオープンした全国初の公設民営劇場である。そして、全国認証第一号の民間非営利法人「ふらの演劇工房」がボランティア組織で運営を受託管理している。建設には富良野在住の作家倉本聰氏が深く関与しており、建造物としてもさることながら、作る側のニーズを十分考慮した劇空間としても大変ユニークな存在となっている。私たちは、普段見ることのできない楽屋やリラックスルームなどを見学して貴重な体験ができ、驚きで圧倒されっ放しだった。舞台の奥行が客席よりも広いこと、小さい子供がいる人でも気兼ねなく鑑賞できるよう防音完備でイヤホン設置の親子室があるなど、入るまでわからない発見がたくさんあった。(後略) 1年 城戸 悠希

・・・SCHEDULE・・・ 6 / 1 ~ 7 月末の行事・動向（含終了）

- 6 / 1（金） 1 学年市内施設見学
- 6 / 11（月） 3 学年臨地実習 2 クール目 1 学年基礎実習 開始
- 6 / 18（月） 2 学年老年実習 病院開始
- 7 / 2（月） 3 学年臨地実習 3 クール目
- 7 / 6（金） 第 25 回旭川地区看護学校親睦体育大会（旭川市総合体育館）
- 7 / 18（水）旭川医科大学解剖見学（2 学年）
- 7 / 24（火）全学年特別講演 □ 7 / 25（水）夏期休業（～ 8 / 16）

**耳よりヘルシー HEALTHY トピックス**

**暑い夏～熱中症を予防しよう！～「自分は大丈夫」は過信～**

熱中症は、高温多湿な環境下、体内の水分、塩分（Na）などのバランスの崩れや体内調整機能の破綻などで発症する障害の総称。 度はめまい・失神、筋肉の痛み・硬直、大量発汗、 度は頭痛・気分不快、嘔吐、倦怠・虚脱感、 度は意識障害・けいれん・運動障害、高体温で、 度では脳神経や内臓に重い障害が生じ死亡率も高まる。水分・塩分の摂取、涼しい服装、体調管理により予防し、 度までの早期発見・治療が重要。気づかないうちの発症もあり十分注意を。（厚労省資料より）

+++ あ・ん・て・な ANTENNA +++

- 「ここまで、見る」・・・今年も心をこめて訪問しました・・・看護の日の行事・・・

5 / 9（水）今年も本校学生が市内のデイサービスセンターいちい、寿光園、ふらの西病院、富良野協会病院、老健ふらの、北の峰ハイツ、北の峰病院の 6 つの病院・施設を訪問させて頂き、この日のために準備した歌や踊りを披露し、ゲームと一緒に楽しむなど、入所者様、患者様との貴重なひと時を送らせて頂きました。何より快く受け入れて下さったことに感謝し、先輩が率先してリードする中、1 学年の学生も初の体験に戸惑いを見せず真剣に「看護の心をみんなの心に」との実践に努めました。（看護の日は、近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日にちなみ 1990 年に「5 月 12 日」と制定）

**ささやき S & T ・・・ 学生の、教員の、みんなの声**

- S：初めての実習を終えて、実際に看護師さんと患者さんに接し、大変勉強になりました。慣れない記録に手こずりましたが、11 月の実習に向けて成長できるように頑張りたいです。（1 年 K・A）
- S：スポーツ交流会や実習など看護学生には皆で頑張らないと乗り越えられないことが多いと入学してから感じています。これからも大変なことや辛いことを皆で笑顔で乗り越えていけるよう頑張りたいです。（2 年 R・K）
- T：基礎 ― が無事終了。それぞれに大きな学びがあり、看護への思いも更に強くなったことでしょう。さなぎから蝶になる日を夢見て、日々学習に励んでくれるといいなあ。（教員 山崎麻美）